



# 野木小だより

平成28年4月20日  
— 第1号 —  
野木町立野木小学校長  
江田 裕之

## 進級おめでとう - 新たな志を応援します！

4月8日(金)、1学期の始業式を行いました。すべての子どもたちが、進級という大きな喜びと自信に満ちた表情で登校してきました。「今年こそは…」と思っている子どもたちはたくさんいます。子どもたちにとって1年1年が新たなスタートラインという思いが、表情からしっかりと伝わってきます。

今学期は、「思いやり」をテーマとして日々の生活を送りましょうと話しました。その際に、「☆人を笑顔にする「思いやり算」☆」という掲示物（以下の内容）を準備しました。

- + たすけ合うと大きな力に！
- 引き受けると喜びが生まれる！
- × 声を掛けると一つになれる！
- ÷ いたわると笑顔になれる！

野木小の誰もが笑顔になれるには、相手のことを思いやる気持ちをもつことです。豊かな関わり合いを通して、子どもたちの笑顔の輪が大きく広がっていく1学期になることを期待しています。



6年生の代表女子は、「最上級生として、責任をもって学校を支えること。学校のことや下級生のことを考えること」を今学期の抱負として、堂々と発表してくれました。6年生を代表して、本当に頼もしい宣言をしてくれたことを心強く感じました。

子どもたちの心には、「3匹のたい」が存在すると言われます。「ほめられたい」、「認められたい」、「役に立ちたい」という気持ちが子どもたちの心の中に宿っています。進級とともに、意欲と前向きな気持ちを大切に育てていきたいと感じています。その気持ちに寄り添い、しっかりと応援してあげることが私たち大人の役割であると思います。

## 15名の新入生を迎えました！

4月11日(月)、15名(男9、女6)の新入生を迎え、入学式を行いました。今年度、全校児童112名がそろってスタートする日でもあります。

学校は、子どもたちどうし、また、子どもたちと地域の皆様や教職員との関わり合いを通して様々なことを学んでいく場です。そこで、友だちから多くのことを学んでほしいという思いを込め、谷川俊太郎氏の「ともだち」という詩を紹介しました。友だちと一緒に学び、遊び、互いを尊重しながら頭と心と体をみがいてほしいと思います。早速、子どもたちは、学校生活のきまりごとを守るとともに、トイレのスリッパを友だちのためにきちんと並べていました。学校生活は、小さな感動の物語です。一人一人が「**チーム野木小**」の大切なメンバーであり、力を合わせて素晴らしい学校にしていきたいと思ひます。



## お世話になりました！（転退職員）

本校教育のために尽力された6名の先生方が転退職されました。これまでお世話になりました。

教務主任	出井亨子 先生	退職
1年担任	齋藤玲子 先生	退職
2年担任	近藤理恵 先生	栃木市部屋小へ
ひまわり1組	木村善子 先生	南赤塚小へ
補助事務員	井本加代子 先生	退職
図書館司書	浅倉ゆかり 先生	野木二中へ

## よろしくお願ひします！（転入職員）

船渡川勉 先生	新橋小より
橋本裕利 先生	新規採用
谷田貝友理 先生	小山市中小より
小島大樹 先生	福島県会津若松市川南小より
矢島貴子 先生	新規 支援指導員
洒入未来 先生	新規 補助事務員
片平かずみ 先生	新規 学校図書館司書

## 新たなビジョンで教育活動を展開します！

「子どもが育ち、教職員が協働し、保護者・地域と連携する学校」、これは、本校の【目指す学校の姿】です。そこに加え、今年度新しいビジョンを掲げました。

30年後、現在の子どもたちが保護者になった時、本校で学んだ様子や思い出を自分の子に笑顔で語っています。本校で学ぶことの価値を継承できることで、家庭との連携を一層深めることができると信じています。

### ビジョン

夢や希望を持てる教育活動を通して、子どもたちや保護者、地域の皆様、教職員の幸せな時間づくりを応援します。

学校の主役は、子どもたちです。子どもたちが育ち、一人一人が確かな学力を身に付け、自信を持てるようにしたいと思います。そうなれば、幸せな時間を過ごし、笑顔に満ちあふれた学校生活を送ることができるはずです。子どもたちが笑顔になれば、保護者や地域の皆様も幸せな気持ちでいっぱいになります。私たち教職員は、明日への希望と意欲に満ち、子どもたちの笑顔を一層広げることにつながります。皆さんとともに、このような学校をつくりたいと考えています。



<今年度の努力点>

\* 4点 (15 項目) に数値指標を掲げています

#### 【努力点1】「行動しよう」

- ・遊び・運動 (90%)
- ・生活習慣 (90%)
- ・食事 (90%)
- ・安全な生活 (100%)

#### 【努力点2】「見つけよう」

- ・自分のよさ (85%)
- ・学校が楽しい (90%)
- ・あいさつ、言葉遣い (90%)
- ・互いを思いやる (90%)

#### 【努力点3】「深めよう」

- ・1 行日記に自分の思い (70%)
- ・授業が分かる (80%)
- ・読書が好き (80%)
- ・家庭学習 (80%)

#### 【努力点4】「つながろう」

- ・学校の様子 (100%)
- ・たより、連絡帳 (90%)
- ・学校支援ボランティア (90%)

## ー いじめ、不登校問題への対応 ー

学校経営の基本方針の一つ、「子どもを中核とした教育を推進する。(人権教育を基盤に、特別支援教育の視点に立つ)」は、本校教育の柱です。

「人権教育を基盤に」とは、自分を大切にすること。それと同じように他の人も大切にすること。

「特別支援教育の視点に立つ」とは、すべての子どもの存在が大切であること。そして、すべての子どもに違いがあること。

すべての教育活動は、これらの2つの視点をもとに計画、実践がなされています。



### 【いじめ・不登校への共通対応】

- ・「自分のよさを見つけよう」カードの発行
- ・「こんなクラスにしたい宣言」
- ・児童会活動の活性化
- ・なかよし班活動(縦割り班による遊び・給食)

### 【いじめへの対応】

- ・いじめ対策委員会の開催
- ・いじめ相談窓口の設置
- ・定期教育相談(年2回)と随時相談の実施
- ・「学校生活アンケート」の実施
- ・Q-U(学級生活満足度調査)テスト(年2回)

### 【不登校への対応】

- ・豊かな学び、分かる授業の実施
- ・全教職員による朝の学習体制
- ・居甲斐のある学級集団づくり
- ・温かな雰囲気を出し出す教育環境の整備
- ・親子給食の実施

\* 本校は過去4年間で不登校児童“0”です。欠席が1人もいない「欠席0の日」を年間70日以上3年間継続しています。

## お知らせ

5月7日(土) 第1回 廃品回収

地域の皆様のご協力をお願いいたします

5月21日(土) 運動会

子どもたちの勇姿をご覧ください。